



2011年5月27日(金) 東京：日本武道館

2011年5月29日(日) 大阪：グランキューブ大阪

Report by 健

4年前(2007年)不慮の死を遂げたZARDのボーカル坂井泉水の命日にあたる5月27日、東京・日本武道館で追悼ライブが開催された。今年はデビュー20周年にあたり毎年行われてきた追悼ライブも今回の東京公演と大阪公演を以って最後となる。

ZARDを聴くようになったのは1997年にリリースされたアルバム「ZARD BLEND～SUN&STONE～」のCMをTVで聞いたのがきっかけだ。「君に逢いたくなったら」「揺れる想い」「君がいない」など恋愛の不安・失恋の歌詞ながら明るいアップテンポの曲、心に



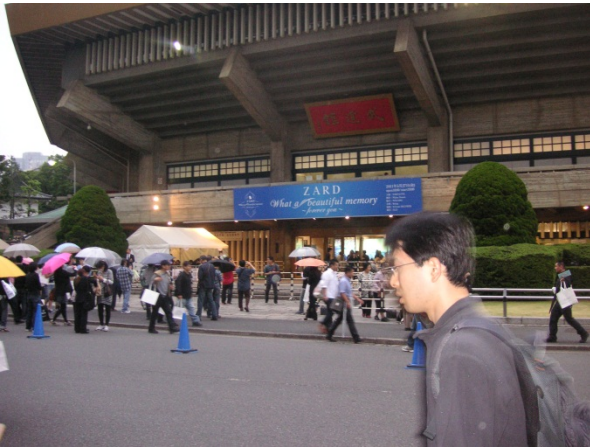
馴染む声に魅かれるようになって、時折りアルバムを買うようになっていた。もともと音楽に興味が無く熱狂的に声援を送る性分ではないのでコンサートに行くことも無く熱心なファンではなかったが急逝した時は驚いたし結構ショックだった。以来、彼女を偲ぶ書籍や展示に関心を持つようになり彼女の音楽に取り組む姿勢に共感し今まで聞いていなかった曲も聴くようになりはまってしまった。

ZARDはもともとメディアへの露出が少なく坂井泉水存命中はライブも一日限りの船上ライブと2004年の全国ツアーのみのため映像やインタビューなど情報が極めて少ない。

それで過去のCD・DVDや出版物、FC会報を集め始めたのをきっかけにファンクラブにも入会した。今年2月は坂井泉水の誕生月、ZARDのデビュー20周年の月でもあり記念のCD・DVD・書籍が発売され、これに併せて渋谷タワーレコード、銀座山野楽器でZARD展が組まれるに至って最初で最後のライブに行くのもいいかと思いFC優先予約のチケットを申し込むことにした。予約多数の場合抽選とあったので大阪へ行くこともあるかと思っていたが希望どおり日本武道館のチケットが取れたので梅雨入り間近の天候を気にしつつ当日を待つことになった。



いよいよコンサート当日。開場 18:00、開演 19:00 だが天気は前日まで晴天続きだったので当日は夜から雨になるという曇り空。この日は命日ということで東京、大阪の事務所前には献花台が設置された。(坂井泉水のお墓は遺族の希望で非公開) また新宿高島屋ではビーイング・TV朝日主催の 2011 年「ZARD 20th YEAR 展」(5/25~5/30)が開催中とあ



って 14:30 から開始の F C 会員向けグッズ売り場に並ぶかどうか回り順に苦慮したファンも多かったようだ。自分は寝るのが午前 4 時、5 時とあって起きてからぐずぐずしていたら結構、時間が経ってしまい結局開場へ直行することにした。武道館に着いたのが 17 時過ぎ。

とりあえず写真を撮る。TICA さんから自分入りの写真を掲載するように指示があったが音友のいない健には無理でした。早速グッズ売り場の長蛇に並んでパンフレットとポスターを購入。後は新宿高島屋の ZARD 展で買えばいいやと切り上げ F C グッズ売り場へ移動したがいまだに列は長いし掲示のカタログには売切れの札が貼られているのが殆ど。雨も降り始めていたのであきらめて開場と同時に入場。ファンとしてはペンライト位は持参しないといけないのかなとプレッシャーがあったが座席にはチラシとチケットホルダー、ペンライト替わりのサイリュームがビニール袋に入



って用意されていたのでちょっと安心。ただし色がピンクなのはどうかと思う。ZARD には青か緑が合うのではと思った次第。座席は西スタンド一階 E 列 39 番アリーナでも正面席でも無いが前

会場内やステージで機材の調整をしている光景も撮影したかったが場内撮影禁止の注意があったので WEB から引用。観客を見ると年配の人も結構いて幅広い層に人気があるのを実感。





2011.5.27 日本武道館

2011.5.29 グランキューブ大阪

01. Good-bye My Loneliness

02. 不思議ね…

03. もう探さない

04. Boy

05. 眠れない夜を抱いて

06. IN MY ARMS TONIGHT

07. あの微笑みを忘れないで

08. 異邦人

09. GOOD DAY

10. あなたと共に生きてゆく

11. 君がいたから

12. 突然

13. DAN DAN 心魅かれてく

14. 風が通り抜ける街へ

15. 今日はゆっくり話そう

16. 永遠

17. 六本木心中 (デビュー前のオーディション音源を使用)

18. 果てしない夢を

19. あなたを感じていたい

20. 世界はきっと未来の中

21. この愛に泳ぎ疲れても

22. My Baby Grand ~ぬくもりが欲しくて~

23. So Together

24. Just believe in love

25. かけがえのないもの

26. きっと忘れない

27. もう少し あと少し…

28. Don't you see !

29. 君に逢いたくなったら…

30. 夏を待つセイル(帆)のように

31. 心を開いて

32. 来年の夏も

33. Today is another day

34. こんなにそばに居るのに

35. 君がいない

36. マイ フレンド

ENCORE

37. Forever you

38. 揺れる想い

39. 負けないで

ステージを見れば坂井泉水の立ち位置には彼女の使用していたマイク・椅子・ミニテーブルがセットされていて改めて本人がいないのが感じられてちょっと哀しい。

いよいよ開演の 19:00。非常灯を含め一切の明りが落ちると真っ暗になり「負けないで」のオルゴールバージョン、ストリング・バージョンが流れ始め正面ステージのスクリーンに東日本大震災の哀悼と復興を願うメッセージが映し出された。続いて坂井泉水の映像が大写しとなり

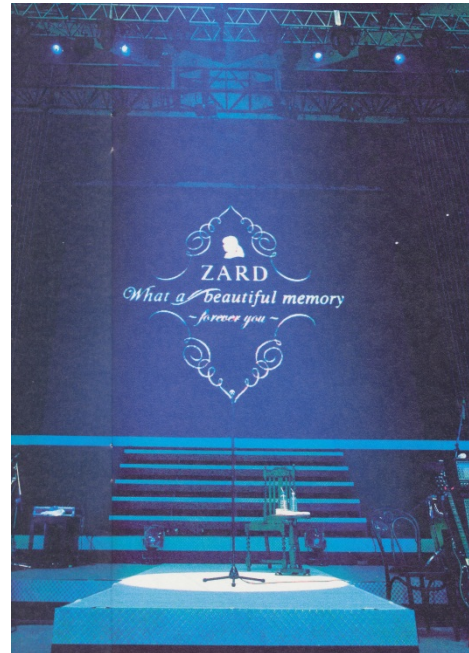
「私はいつも本当に言葉を、詞を、大切にしてきました。音楽でそれが伝わればいいなと願っています。」と初ツアーの時のMCがアナウンスされた。



1曲目はデビュー曲「Good-bye My Loneliness」でイントロが流れ始めるとスクリーンに大黒埠頭で歌う坂井泉水の映像が映し出された。映像は既知の映像とは違う未公開のもので降の映像にも期待感が増す。しばらくデビュー時期の曲の演奏が続き 20 周年の軌跡を辿る構成と気付いた。主催の東京FM局の古賀涼子のMCが入り ZARD ゆかりのゲスト、ZARDが他のアーティストに提供した作品が紹介され次々に演奏される中、合間合間に 5 人のゲストがコメントを寄せる。残念だったのは 20 周年を祝うコメントが多くファンとしては坂井泉水を偲ぶエピソードがあまり無かったことだ。

唯一それらしいコメントを残したのが作曲・編曲で多くの作品に関わった徳永暁人で「まだ駆出しの時、どこに曲を持って行っても箸にも棒にもかからない、そんな時に眼をかけてくれたのが坂井さん。坂井さんからは勇気をもらいました」だった。ゲストの目玉である FIELD OF VIEW のボーカル浅岡雄也は自分の好きな「突然」「君がいたから」など ZARD から 4 曲提供されているのでいろいろ話が聞けるのではと思っていたがコメントが少なくちょっと残念だった。

本日、一番のサプライズは何と言っても ZARD デビューのきっかけとなった「踊るポンポコリン」のバック・コーラスを決めるオーディションで歌った坂井泉水の「六本木心中」が紹介されたことだ。エピソードとしては知られているが未公開の音源とあって館内がどよめき皆、聞き漏らさぬよう耳を傾けていた。その後は長嶋監督がゲストコーラスした「果てしなき夢」「世界はきっと未来の中」を経て場内が徐々に高まりつつあるところでスタッフの合図で配られたサイリュームを点灯し「Just believe in love」の曲に合わせて心一つにサイリュームの灯りが振られる。曲も進み「Don't you see」がかかり始める頃になると一気にボルテージがあがり観客は総立ちにとなり、最後はお決まりの「負けないで」の大合唱で幕を閉じた。スクリーンには「君のことをずっとずっと想っているよ」という坂井泉水の直筆メッセージと泉水さんの映像が映し出され拍手の中 2 時間 45 分のライブが終了した。



スクリーンには「君のことをずっとずっと想っているよ」という坂井泉水の直筆メッセージと泉水さんの映像が映し出され拍手の中 2 時間 45 分のライブが終了した。

全体的な感想を言えば未公開映像も多く満足できるものではあったが最後のライブ、しかも命日というのに坂井泉水を偲ぶという感じに欠けてい

たことがちょっと不満。本人のいないライブの寂しさを思いつつ小雨降るなか帰宅の途についた。アンケートには大阪公演を含め早期にライブの DVD 化希望の旨書いてきたがこちらのほうは早々に願いが叶い 8 月 10 日のリリースが決まっている。